

# SAFe® Scrum Master

SAFe®エンタープライズ内でスクラムマスターの役割を適用する

SAFe® Scrum Master (SSM) になることで、アジャイルリリーストレイン (ART) のハイパフォーマンスなチームメンバーとしてのスキルを構築し、ART とチームイベントのファシリテーションをサポートする準備ができます。

この2日間のコースでは、SAFeエンタープライズにおけるスクラムマスターの役割について理解を深めます。チームレベルでのスクラムの基本に焦点を当てた従来のスクラムマスタートレーニングとは異なり、SAFe Scrum Masterコースは全社レベルというコンテキストでスクラムマスターの役割を説明し、SAFe組織のすべてのレベルのベクトルを合わせるための重要な要因となる、プランニングインターバル (PI) を適切に準備して実行できるようにします。

SAFe® Scrum Master (SSM) 6.0認定資格付き



# SAFe® Scrum Master

SAFe® Scrum Master (SSM) 6.0認定資格付き



## 対象者

スクラムマスターの役割に初めて就く人や、役割をよりよく理解し、SAFeエンタープライズにおけるその位置づけを知りたい人を対象としています。受講者には通常、次の人々が含まれます。

- 新規または既存のスクラムマスター
- チームリード
- リリーストレインエンジニア

SAFeの専門知識に対するデマンドが世界的に加速する中で、スクラムマスターとスクラムマスターがSAFe実装において果たす重要な役割に対する注目が高まっています。

SSM認定資格は、今日のキャリア市場でバリューを高めたいスクラムマスターにとって必須の認定です。

## 学習内容

SAFe Scrum Masterの役割を果たすには、以下の能力が求められます。

- SAFeエンタープライズにおけるスクラムについて説明する
- スクラムイベントをファシリテートする
- 効果的なイテレーション実行をファシリテートする
- 効果的なプランニングインターバル (PI) 実行をサポートする
- たゆまぬ改善をサポートする
- アジャイルチームをコーチングして最大のビジネスの成果を達成する
- DevOpsの実装をサポートする

## 取り扱いテーマ

- SAFeにおけるスクラムの概要を紹介する
- スクラムマスターの役割の特徴を知る
- PIプランニングを体験する
- イテレーション実行をファシリテートする
- プランニングインターバル (PI) を完了する
- アジャイルチームをコーチングする



Having a clear methodology and training in place has been very helpful when hiring people. Being able to tell candidates that we take Agile principles seriously—by mentioning that we have trained and certified Product Owners and Scrum Masters, and that we follow a clear Agile path—definitely makes a difference.” (明確な手法とトレーニングが確立されているため、人材を採用する際に非常に役立ちました。トレーニングを受けた認定資格を持つプロダクトオーナーやスクラムマスターが社内において、明確なアジャイルの道を辿っていることに言及することにより、アジャイル原則を真剣に受け止めていることを候補者に伝えられることは、確実に違いを生み出します)

— Walter Bauer氏、CTO、censhare社

## 前提条件

このコースは、経験の有無にかかわらず、どなたでも参加可能です。ただし、SAFe® Scrum Master (SSM) 6.0認定試験を受験する予定がある場合、以下の受講要件を満たしていることをお勧めします。

- アジャイルのコンセプトと原則に習熟
- スクラム、カンバン、XPに対する関心
- ソフトウェアおよびハードウェア開発プロセスの実用的知識

## 提供されるもの

クラスへの受講登録により以下のものが提供されます。

- 受講者向けワークブック
- SAFe® Scrum Master (SSM) 6.0 認定試験の準備資料と受験資格
- SAFe Studioの1年間のメンバーシップ
- コースの修了証明書

受講者は、受験資格を得るために2日間のコースを2日とも受講する必要があります。

## Professional Development Unit (PDU) とScrum Education Unit (SEU)

- 受講者は、プロジェクトマネジメント協会 (PMI) の提供するPMP、PgMP、PMI-ACPの認定取得に向けた継続教育要件を満たすために、15単位のPDUをPMIに申請可能
- 受講者は、Scrum Allianceを通じたCSPの取得または更新に向けて、カテゴリCのSEUを申請可能

→ コースの受講登録はこちら [scaledagile.com/calendar](https://scaledagile.com/calendar)

# SAFe®カリキュラム

幅広い内容を扱い、進化を続けるScaled Agileのカリキュラムは、SAFeの実装を成功させる上での基礎であり、トランスフォーメーション全体の要となります。世界クラスのコースウェアの豊富なポートフォリオは、組織がビジネスの成果を引き出し、チームを維持し、新しい才能を引き付けるのに役立ちます。そして、デマンドの高い認定は、個人がSAFe組織内で重要な役割を果たし、フレームワークにおける実践、コンサルティング、または他者へのトレーニングを通じてキャリアを進展させるのに役立ちます。



## SAFeの認定試験付きトレーニングコース一覧

- **Implementing SAFe®**  
SAFe® Practice Consultant (SPC) 6.0認定試験付き
- **Leading SAFe®**  
SAFe® Agilist (SA) 6.0認定試験付き
- **SAFe® for Teams**  
SAFe® Practitioner (SP) 6.0認定試験付き
- **SAFe® Scrum Master**  
SAFe® Scrum Master (SSM) 6.0認定試験付き
- **SAFe® Advanced Scrum Master**  
SAFe® Advanced Scrum Master (SASM) 6.0認定試験付き
- **SAFe® Release Train Engineer**  
SAFe® Release Train Engineer (RTE) 6.0認定試験付き
- **SAFe® Product Owner/Product Manager**  
SAFe® Product Owner/Product Manager (POPM) 6.0認定試験付き
- **SAFe® DevOps**  
SAFe® DevOps Practitioner (SDP) 6.0認定試験付き
- **SAFe® for Government**  
SAFe® Government Practitioner (SGP) 5.0認定試験付き
- **Agile Software Engineering**  
SAFe® Agile Software Engineer (ASE) 5.0認定試験付き
- **SAFe® for Architects**  
SAFe® Architect (ARCH) 6.0認定試験付き
- **Lean Portfolio Management**  
SAFe® Lean Portfolio Manager (LPM) 6.0認定試験付き
- **Agile Product Management**  
SAFe® Agile Product Manager (APM) 6.0認定試験付き

→ SAFEキャリアの道のりはここから始まります  
[scaledagile.com/calendar](https://scaledagile.com/calendar)

Work Differently.  
Build the Future.

